

運輸安全マネジメントに係る 内部監査結果報告書

1. 取り組み計画・運営状況

輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同が安全確保に最善の努力を尽くす。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定を厳守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。
- (3) 安全管理体制を適切に維持するため不断の確認を遂行する。
- (4) 輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

輸送の安全に関する重点施策

- ・輸送の安全確保が最も需要であるという意識を徹底し、関係法令に定められた事項を厳守します
- ・輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極かつ効率的に行うよう努めます。
- ・輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正処置又は予防措置を講じます。
- ・輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- ・輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを確実に実施します。

輸送の安全に関する目標

- ・重大事故件数 0件（前年 0件）
- ・有責事故件数 0件（前年 0件）
- ・車両故障件数 0件（前年 1件）

輸送の安全に関する計画

- ・安全が最優先であることへの意識の徹底

社内で教習や会議等で、安全が何よりも優先すること、それに関する法令を厳守することを説き、安全第一に努めます。

- ・車両の代替え、増車

車両の代替え、増車には、安全新機能装備車にします。

- ・情報の伝達および共有

安全統括管理者を含めた管理者が現場に赴き、双方向のコミュニケーションを活発に図ることで、全社員に対して安全に関する意識を高めます。また、社内の伝達体制を強化し安全に関する情報を全社員が共有します。更に、ヒヤリハットの手法を活用し、そこで収集した情報についても社内で共有し、事故防止に役立てています。

- ・教育、研修の充実

社内研修の年間計画表に基付き、計画的に実施しています。

2.取り組みの評価・実施状況

(監査対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

取り組みの実施状況

- ・班長会議を積極的に開き、班制度により目標意識や結束が強まり、安全に対する意識が高まっている。
- ・最新車両を導入し、より安全で高度な技術を取り入れている。
- ・冬山運行に備え冬山研修を実施し注意が必要な地点の把握、勧告に活かされている。
- ・全車両にドライブレコーダーを搭載し、事故原因究明や教育に活用している。

輸送の安全に関する目標に対する達成状況

	目標	結果
重大事故	0件（前年0件）	実績0件
有責事故	0件（前年0件）	実績0件
車両故障	0件（前年 本社:1件 横浜営業所:0件）	実績0件

3.監査結果を踏まえた評価・改善策・今後に向けた取り組み

- ・衝突防止装置付きの最新車両の増車、代替えをしていくべきである。
- ・事故・飲酒運転防止に効率的な機器類への積極的な投資。
- ・乗務員の健康管理体制の充実。
- ・ヒヤリハット情報の収集の検討。
- ・新入運転者への教育の充実。

安全統括管理者 中原 一成